

市川市議別の百条委発議へ

政活費巡り 議会内で応酬

一部の市議が政務活動費の使い方を調べる特別委員会（百条委）の設置を求め、

24日に臨時会が開かれる市川市議会（定数42）で、対抗する市議が別の百条委設置を求める発議案を提出すること

が22日、わかった。最初、百条委設置を求めた市議グループをけん制する

動きとみられ、同時に二つの百条委が設置されれば異例の事態となる。

同市議会の政務活動費をめぐることは今年8月、一部会派の議員が切手を大量に購入しているとして市民が住民監査請求を行い、11月に棄却された。一部の市議が監査では限界が

あるとして、百条委の設置を求める発議案を臨時会に出す。14人の市議が調査対象。一方、最初の百条委設置に対抗する形の発議案は、切手購入以外にも疑義がある支出を解明する必要があるとし、18人を調査対象としている。